



東福寺神社の神紋

東福寺神社だより

第10号 臨時号

発行 東福寺神社

神社建立 100 有余年



〈問い合わせ先〉

■上庭区総代

■上組区総代

■中組区総代

■東区総代

経年劣化がひどい

寄付金のお願い

令和の
大修理を実現するために

令和になって
多くの人が集い始めた東福寺神社



東福寺神社は、明治時代に内務省
調令による村社会併で、中組の池田
社があった今の場所（東福寺758
番地）に集合したものです。上組、中組、
東区、上庭の4集落の産土神を祀る
村社です。

親しまれ、
愛され、
お賽銭のあがる
神社をめざして

新生なった東福寺神社の社殿建立
は、大正年代の初期で、本殿・拝殿・
社務所は100余年の風雪雨に耐え
てはきたが、さすがに経年劣化がど
く抗しきれなくなってきた。

村を守ってきた産土神うぶすながみ

東福寺神社を次世代に遺す意とはのこ

もともと神社は、有力氏族のためのものでした。天皇家を始め、藤原氏や源氏、徳川氏など有力な「家」はこぞって自分たちの神社を建てました。ですから神さまとは、特定の「家」「一族」の守護神だったのです。明治時代になり国家神道の名のもと、神社は「日本国」のためのものとなりました。神さまの役割は「家」とか「一族」の守護から「日本」の守護に変わったのです。

そして第2次世界大戦で日本が敗北した後、神さまは「個人」の守護神となりました。それまで神社の神さまとは、国や一族といった共同体のものでしたが、アメリカが日本を占領した結果、アメリカ的な「個人主義」が日本に広まり、神社は個人の開運を願う場所になったのです。「神社は、ただの建物、ただの風景じゃない」ということを知って欲しいのです。

神様の知恵が授かる

茅の輪くぐり

時代の変化で、神社は個人の開運を願うものになってきています。ご先祖様たちが作ってきた、たくさんさんの「見えない知恵」が神社にあります。ビジネス、伝統芸能、学問などの「洗練された知恵」。お金、健康、恋愛などの「生活の知恵」が神社にはあるのです



▶茅の輪くぐりも4年経ち、すっかり定着してきました

どうぞ「神さまの知恵」を授かり、引き出すために神社に来てください。「神さまが持っている大祓詞おほはらいことばの知恵」を引き出しに、茅の輪くぐりに、多くの参拝客が集まっています。

南宮遺跡の出土品が教えるもの

千年も前から東福寺神社が存在した

▲南宮遺跡から出土した土製の印。中流の武族社会を統治するために使われたと思われる



▲八稜鏡の出土。平安時代に多く作られた

南長野運動公園の地下には、10世紀中頃の古代遺跡が眠っています。30年前の発掘で、大きな区画溝くわくまうと自然流路に囲まれた一町（約100m）四方の居住空間が完掘に近い状態で発見されています。その居宅内部は豪族の存在を明確に示す、遺構や遺物も見つかっています

鍛冶炉が多く出土していることは、この豪族は金属製品の生産においても勝れており、鉄製品（武器類、農具、刀子）も居宅内に数多く残った状態で出土されています。それと豪族居宅跡に神社域のエリアがあり、社殿や鳥居、手水舎跡が見られ、1000年も前の、古代の神社遺構があったのです。

▶秋の大祭 2日間かけての収穫感謝祭。神楽獅子を奉納する



東福寺神社の

地主神 〓 四祭神が守る 南長野運動公園



私たちはアスリートたちを
応援しています

■タケミカツチ

彼は戦いや勝利の神さまとして知られています。強く勇ましい性格を持ち、運動競技などの勝利を願う神。日本最強の武神と言われる雷の神さまです。

■タケミナカタ

諏訪神社の神さまで、「水」のイメージを強く持った神さまです。彼女は天地創造の神であり、建物を建てる時に必要な、安全や国の平和、豊かさを願う神でもあります。

■サルタヒコ

旅人が道に迷わないように見守り、安全な旅行や出張を導く神さまです。人を動かす動員力はパツ

たけみかつちのみこと
武甕槌命

さるとひこのみこと
猿田彦命

たけみなかたのみこと
建御名方命

かなやまひこのみこと
金山彦命

グンのセンスを持っています。

■カナヤマヒコ

鉱山の神”とも呼ばれ、鉱物資源を守り、時には鉱山開発をする。鍛冶や採掘の技術を支援する、現版A Iの超エリートマン。



▶トップチーム・レディースとも
長野パルセイロを応援します

長野Uスタジアム 東側エリアの整備始まる

この9月から発掘調査が始まります。すでに試掘調査で判明していますが、南宮の古代遺跡が発見されるか、興味深いところです。古代東福寺の暮らしと由来を掘り出す、もう二度とない、平安ロマンとの遭遇があることは必至です。

今、東福寺の住民の皆さんにこの発掘調査の参加を呼び掛けています。拡張整備されたあかつきには、長野パルセイロ軍団のホームタウン。本拠地として定着していくだろう。



▲令和になって多くの人が集い始めた

- ▶スタジアムの下には、南宮の巨大遺跡群が眠っている
- オリンピックスタジアム 野球場
- 長野Uスタジアム サッカー場

- 古代遺跡財産
- 「スポーツのメッカ」としての尊称を得たい

愛され、親しまれてきた
ちん じゅ もり
鎮守の杜

日本の神社には、境内に生い茂る樹木が作る鎮守の杜はつきものです。

それは日本の神道が、山や森などの自然環境の中のあらゆるものに神が宿っていると考え、自然信仰・自然崇拝から始まったからだと見られます。



▲東福寺神社の社叢。境内に植生する樹木の種類がはっきりわかる



▶今年7月、80〜90年生のアカマツの原木が突然倒れた。手入れがゆき届かなかつたせいか、根元は腐りが入り、朽ち倒れた

**農作業の広場や
子どもたちの遊び場**

何より鎮守の杜は、子どもたちの安全な遊び場になってきました。

東福寺神社の境内広場も、数十年前には草野球の場になったり、陣取り遊びや鬼ごっこの場になったりしていました。近隣農家では、刈った

小麦を乾燥させたり、脱穀作業をしたりしました。

最近では、保育園の野外体験の場として活用されるようになり、秋には園児たちが、ドングリやマツボックリを拾って楽しんでます。

神社を創建するさい、樹勢の良いケヤキやクヌギを植えて、子孫を守ってきたのです。

**「次世代に繋ぐ令和の大修理」と
「鎮守の杜」保全のための寄付金のお願い**

境内の巨木が倒れたり、長い年月ですっかり疲弊した社殿の修繕には、隔年の修理や巨大樹木の手入れが必要となりました。相当の費用を必要とします。氏子費やお賽銭程度の積立金では、間に合いません。

ご理解いただける皆さまに、寄付金のお願いをいたします。

ご賛同いただける皆さまには
**1口10,000円以上(上限なし)で
ご寄付をお願いします。**

サッカー場拡張エリアの地権者の皆さま。
格別なるご奉仕をお願いいたします。

1：寄付金の目的

- ・社殿、拝殿、廊下、社務所の土台補強。
- ・各施設の格子壁面、内装、水道設備と防犯設備の設置。
- ・境内樹木総点検、剪定、伐採など。
- ・賽銭箱・幟旗の新調。
- ・神社のホームページなど作成し、ソフト面の活動を図る。
- ・基金の積み立てを図る。今後のメンテナンス費用にむけて。

2：調達目標金額 1,000万円

**3：受付け金額 1口1万円から
(上限なしでお願いします)**

4：募集期間

令和6年11月1日～
令和6年12月31日までの2ヶ月間

**5：支払い方法 地区総代の集金、または
指定した口座への振込**

6：返礼品 東福寺神社オリジナルお守りと、開運絵馬